

ゼミ活動報告 「2016年 第4回宮門会」

吉村綾香

11月12日(土)、第4回宮門会が開催されました。1期生から5期生まで、40人以上の集まる盛大な会となり、遠方からもたくさんのOB・OGの方々が来てくださいました。幹事をしてくださった4期生の西さん、本当にありがとうございました。私は5期生で最年少ということで、お会いしたことのない先輩方が多く少し不安な部分もありましたが、先輩方を見るとそんな不安は吹き飛びました。どの先輩方も気さくで優しく、半年間ゼミに先輩がいなくて少し寂しいなと感じていた私はとても幸せな時間を過ごすことができました。今から来年の宮門会が楽しみで仕方ありません。



ところで今回の宮門会は、前回の宮門会と一味違います(私は宮門会初参加ですが)。4期生の提案で宮門会の前に「宮川研究室特別ゼミ」が開講となったのです。内容は今私たちが取り組んでいるコア論文の中間発表を先輩方の前で行い、それに対して先輩方がフリーディスカッション形式で意見・感想をくださるというものでした。発表は2グループあり、私は1グループ目のトップバッターでした。発表の前からすでに緊張はしていたのですが、いざ先輩方の目の前に立つとその迫りに圧倒され、緊張は発表前の比ではありませんでした。ここ最近であんなに胃が痛くなったことはないと思うくらいです。発表終了後、4期生の橋詰さんを筆頭に次々と先輩方の意見が飛び交いました。スライドに対する質問であったり、今後の課題へのアドバイスであったり、間違いに対する指摘であったり…。そのひとつひとつに重みがあって、宮川ゼミで培ってきた知識を持つ先輩方の頼もしさを実感しました。また、大げさかもしれませんが先輩方のゼミに対する愛情も

垣間見えた気がしました。発表後個別に丁寧にアドバイスをくださる方、私たちの質問にとっても熱心に答えてくださる方など言い出したらきりがありませんが、みなさんゼミが好きだからこそ色々なアイデアが浮かんだり、初対面の後輩にアドバイスをしようという気になったりするのはないでしょうか。こういったことを感じるほど、とてもいい雰囲気、とても素敵な先輩方でした。

特別ゼミ終了後、いよいよ第4回宮門会の幕開けです。初めに宮川先生から挨拶があり、そのあとテーブルごとにおしゃべりをしながら、1から4期生の自己紹介がはじまりました。時間は1分足らずでしたが、先輩方の個性あふれる自己紹介に場が一気にぎやかになりました。印象的だったのは、ある先輩の「宮門会が心のよりどころになっている」という言葉です。帰ってくる場所があるのは幸せなことだと。現役である私は実感の湧きにくいことですが、そうであるからこそ、今のこの贅沢なゼミの時間を充実させ、数年後ああしておけばよかったという後悔のないようにしていきたいと思いました。

最後に、幹事の西さんをはじめOB・OGの先輩方、本当にありがとうございました。どんな時でも温かいご指導をくださる先生と頼もしい先輩方がいらっしゃるの、今後の人生において怖いものはそうそうない気がします。これからも末永くお世話になります、よろしくお願い致します。

